

## 事務事業評価シート(平成27年度実績分)

### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
61211	町政懇談会事業	総務課	秘書室	一ノ瀬 元広	小澤 靖一	
		一次評価年月日	平成 28 年 7 月 5 日	連絡先〔内線〕	2202	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0201		一般管理事務		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A				
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	6章	参加と交流のまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	協働のまちづくりの推進	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	2項	地域コミュニティの活性化	
目〔主な施策〕		(コード選択)	1目	連携の強化		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他		
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし			

### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

各区(17区)の区民及び町内各団体を構成する人

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

地域の声や実情を把握し、町の事業計画・予算・今後の方針等を住民に直接伝え、協働のまちづくりへの町民参加を進める。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	年に1度を基準とし、区主催により懇談会を開催する。
2	区からの陳情形式を避け、懇談会形式を取る。
3	
4	

### (3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	懇談会開催件数		9	8	10	0.80	10
	説明	町から町長以下関係課長が出席のもとで開催された件数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 懇談会開催件数				
②	指標名							0
	説明			算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				

### (4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		26年度	27年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	懇談会参加人数		360	240	400	0.60	400
	説明	1年間に町政懇談会に参加した人数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 懇談会開催数×参加者数				
②	指標名							0
	説明			算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				

### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			決算	決算	決算
対前年比		%		241.9	85.8
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)					
B) 一般財源(税金)					
		(千円)	130	314	270
①事業費		(千円)	10	35	30
対前年比		%		350	85.7
②人件費の概算		(千円)	120	279	240
対前年比		%		232.9	85.9
			年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)			120	279	240
非常勤等職員(臨時職員)	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算シート)		0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある	B 変化していない	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 区長が区民のニーズを聞き、町に伝える。
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	B	A 町が主体となる必要がある	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要	C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	B 概ね期待したとおりの成果があった
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください	B 今後は可能性がある
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	B 当面は余地なし
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	C 一部余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	D かなり余地あり
			A 検討の余地なし		B 当面検討の余地なし
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	C	A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください	B 可能
			C 困難		D 検討中

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	28年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
懇談会形式が定着化しているが、参加者の固定化や役員中心の懇談会となっているため、誰でも参加できる開催方法を検討し、広く住民の声を聴き、町の施策に取り入れる。	[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
町政を運営するには、住民の声を直接聴くことができる良い制度と考えている。大勢の区民が出席していただけるよう町としても、協力していきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

上記〈今後の展開方針〉 a~e を選択